

## 令和4年度 市川市立第二中学校 学校評価の結果について

### 1 結果の項目について

- 学校評価の結果（HP版）は、「1 確かな学力」「2 豊かな心」「3 健やかな体」「4 信頼される学校」ごとに、「(1) アンケートの結果」「(2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性」「(3) 学校関係者評価」に分けてまとめています。

### 2 アンケートの結果及び分析・学校運営改善の方向性について

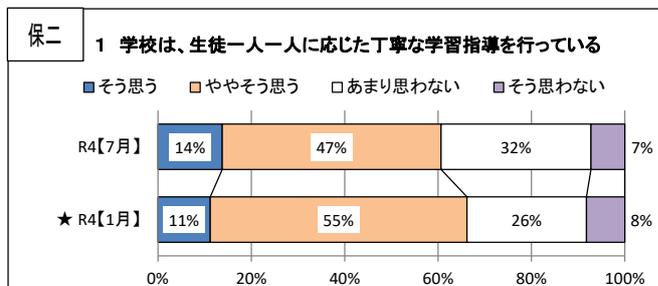
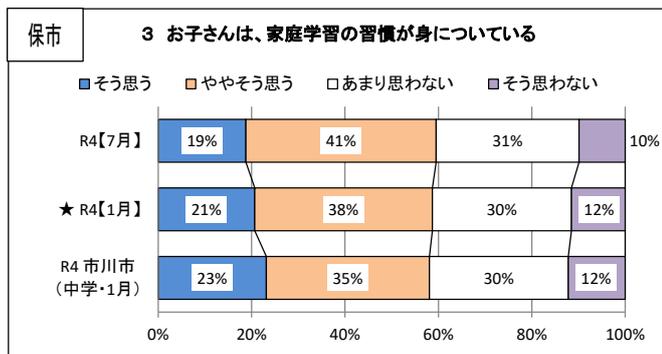
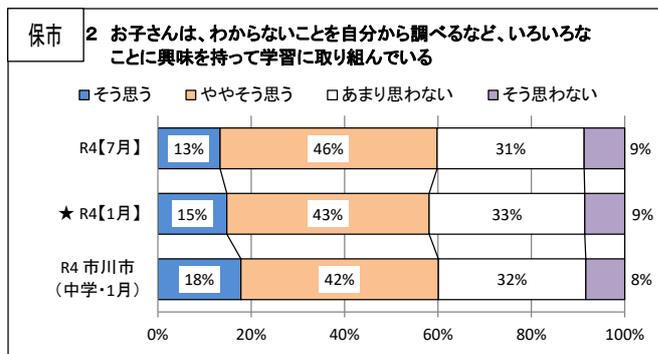
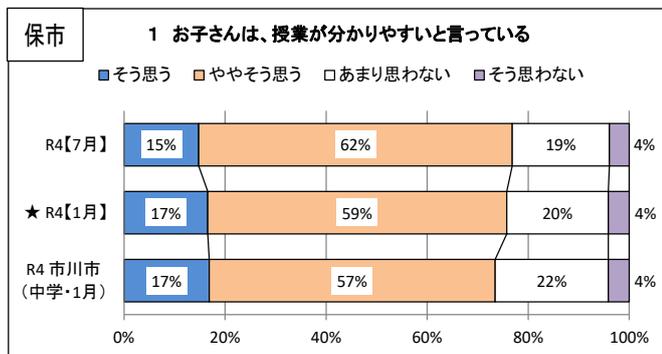
- アンケート結果の「R4」は「年度」を表しています。このため、R4【7月】は令和4年7月、R4【1月】は、令和5年1月となります。
- 市内共通の保護者アンケートの結果（保市）は、今年度前期（令和4年7月）、及び中学校の市内平均と比較できるようにしています。
- 二中独自の保護者アンケートの結果（保二）は、今年度前期（令和4年7月）と比較できるようにしています。
- アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性は、「学校の役割」、及び「学校が出来ること」を総合的に勘案して、改善・充実の方向性を示しています。

### 3 学校関係者評価について

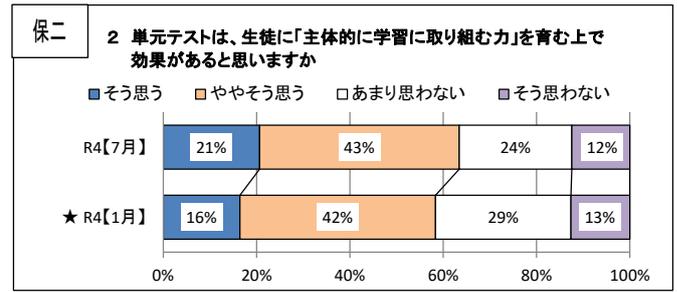
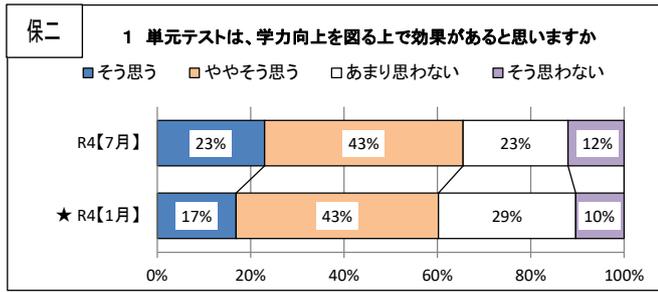
- 学校関係者評価は、2月17日開催の第5回学校運営協議会において、ご協議いただいた評価を記載しています。

## 1 「確かな学力」について

### (1) アンケートの結果



## ○単元テストについて



### (2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- 「授業は分かりやすい」ことの評価は、昨年度より前期は向上しましたが、後期は横ばいとなっています。生きる力を育む上で学力の向上は重要な課題であることから、24%が否定的な回答をしていることを真摯に受け止め、「わかりやすい授業」に向けた授業改善に努めてまいります。また、能動的に学ぶことが学習内容の理解・定着に結びつくことから、今後も主体的に学ぶ力を育成する取組を進め、学びに向かう力の向上に努めてまいります。
- 「分からないことを自分から調べる」ことの評価は、昨年度より前期は向上しましたが、後期は横ばいとなっています。問題発見・解決能力は学習の基盤となる資質・能力のひとつとされており、各教科等において、問題発見・解決の過程を通して身に付けられるようにすることが重要です。このことから今後も、引き続き各教科・領域で課題解決型の学習に取り組み、自ら問いを立てて解決していく過程を通して、問題発見・解決能力の育成に努めるとともに、総合的な学習における探究的な学習を通して、各教科等で身に付けた力が統合的に活用できるようにしてまいります。
- 「一人一人に応じた学習指導を行っている」ことの評価は、前期と比べて改善されています。これからは個に応じた指導の一層の充実が求められており、生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じて、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」と、生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する「学習の個性化」が必要とされています。このため、「一人一人に応じた学習指導」の充実を一層図るとともに、個別最適な学びに向けた授業改善の考え方について、引き続き丁寧にお伝えしてまいります。
- 「家庭学習の習慣が身につく」ことの評価は、昨年度から前期、後期ともに横ばいとなっています。日頃から少しずつ勉強することが学力定着には必要であり、自己調整しながら能動的に学習を進める力が学力向上には欠かせません。このため、能動的な学習を促して日々の学習習慣を身に着けるとともに、自己調整力を高め、主体的に学ぶ力の育成を目指して単元テストを導入しました。生徒アンケートでは、単元テストの導入によって、80%以上の生徒が計画的に学習することの大切さがわかったと答えており、70%以上の生徒が学習面で何を行ったら良いか自分で考えられるようになったと答えています。しかし、実際に計画的に学習に取り組めるようになった生徒は 50%あまりであることから、今後も、自己調整しながら学習を進める力の育成に努めてまいります。

### (3) 学校関係者評価

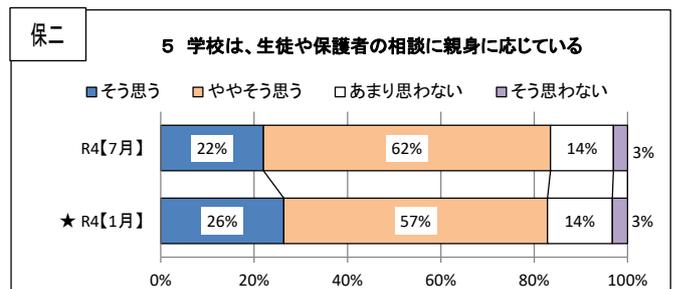
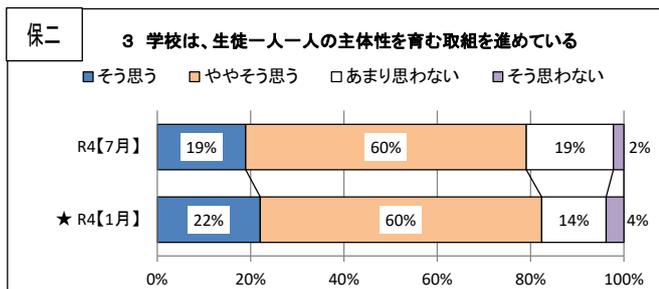
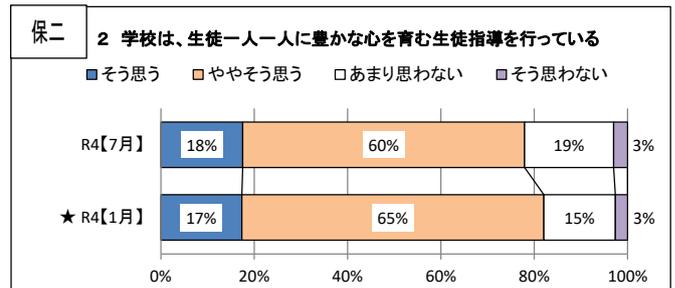
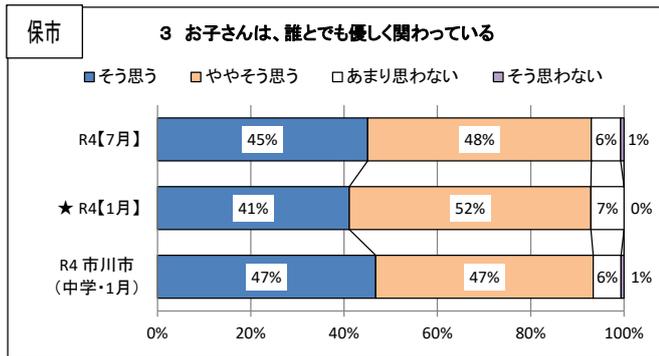
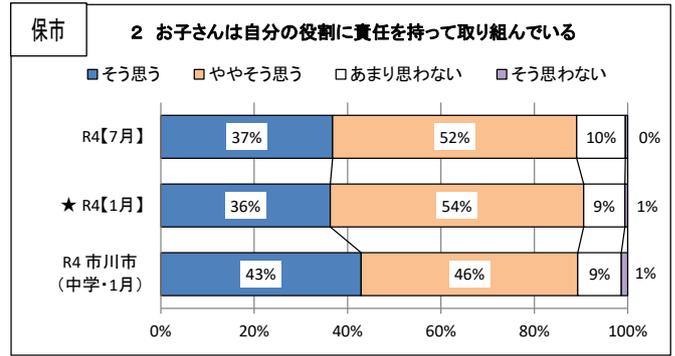
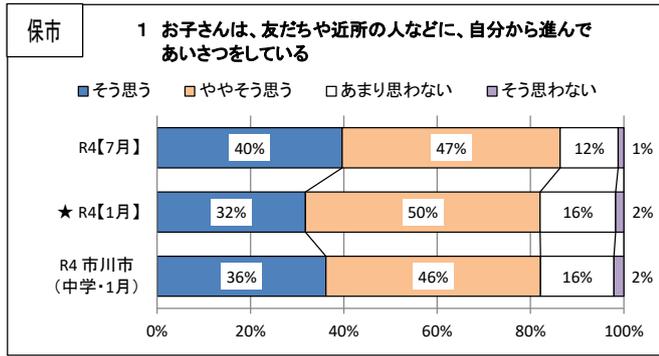
○達成状況：3.6/5.0

○評価内容及び意見

- ・単元テストの取組はとても良い。これから定着していけばと思う。引き続き情報発信等で保護者に理解してもらおう努力をしてほしい。
- ・課題として教員の人手不足がある。

## 2 「豊かな心」について

### (1) アンケートの結果



### (2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- ・前期は、自己肯定感や自己有用感の指標となる評価が昨年度より向上し、そのことに合わせて、「自分の役割に責任を持つ」ことの評価も高まっていました。後期も「自分の役割に責任を持つ」ことの評価は良好のまま横ばいとなっていることから、自己肯定感や自己有用感の状況は前期と同様であると考えます。またこのことは、「学校は主体性を育む取組を進めている」ことの評価が向上していることとも関わりがあると考えます。今後も、学校行事や特別活動等において主体的な活動を支え、一人一人が活躍できる場を創出するとともに、各教科等においても主体的な活動を進め、自己肯定感や自己有用感の向上に努めてまいります。
- ・「誰とも優しく関わる」ことの評価は後期も良好です。このことは、「学校は、豊かな心を育む生徒指導を行っている」ことの評価が向上していることとも関わりがあると考えます。今後も、豊かな心を育む生徒指導や道徳授業の充実を通して、他人を思いやる豊かな心の育成に努めてまいります。
- ・「自分からあいさつをする」ことの評価は良好ではありますが、前期と比べると肯定的な回答が下がっています。後期には「STOP いじめキャンペーン」の一環として、学校全体の雰囲気をもっと明るくするとともに、挨拶の習慣を自然と身につけることを目的として、生徒会や有志を中心に挨拶運動に取り組んでいます。今後もこういった取組を通して、進んで挨拶のできる生徒の育成に取り組んでまいります。
- ・「生徒や保護者の相談に親身に応じている」ことの評価はおおむね良好のまま推移しており、教育相談

の状況は良好であると考えます。今後も、年3回の「心のアンケート」及び「教育相談週間」を継続し、生徒一人一人の心の悩みに迅速かつ丁寧に対応してまいります。

### (3) 学校関係者評価

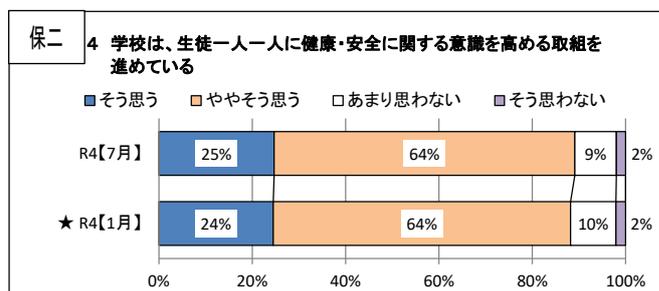
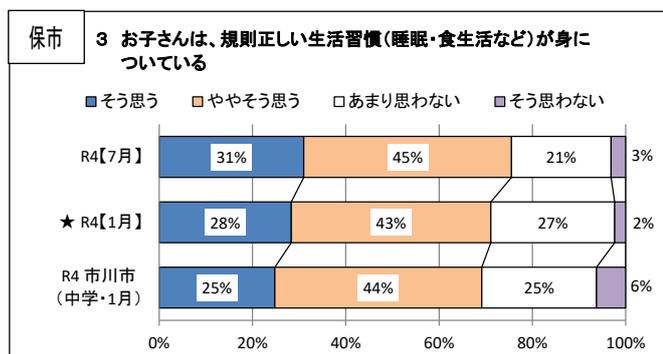
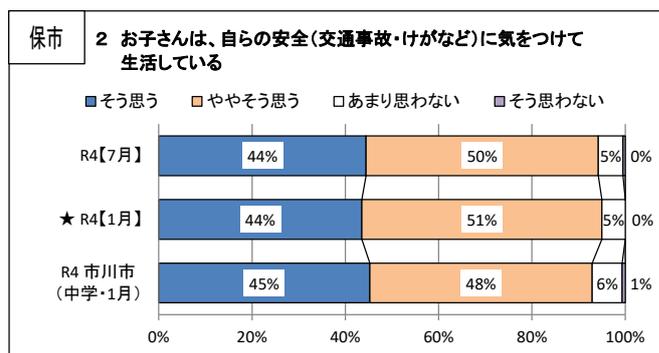
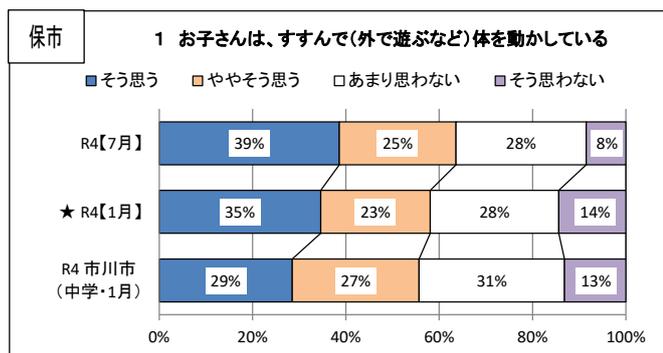
○達成状況：4.1/5.0

○評価内容及び意見

- ・生徒の主体性を育む取組について評価できる。コロナ禍等で心の悩みを抱える人も増えており、今後も速やかに相談できる場を充実させてほしい。
- ・学校支援実践講座の実施は、とても良かったと思う。

## 3 「健やかな体」について

### (1) アンケートの結果



### (2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- ・「進んで体を動かす」ことの評価は、昨年度に比べて前期は向上しましたが、後期は肯定的な回答が下がっています。体力の向上は継続した課題であり、後期には、ブロック内の小・中・特別支援学校で情報交換会を開催し、小中連携した取組の方向性と具体的な手立てについて検討・協議をしました。今後は検討・協議をした内容をもとに、小中学校共通の課題として、中学校ブロック内で体力向上に向けた具体的な取組につなげてまいります。
- ・「学校は、健康・安全に関する意識を高める取組を進めている」ことの評価はおおむね良好であり、その結果、「安全に気を付けて生活している」ことの評価も継続して高い評価となっています。今後も安全指導や安全教育を通して、健康・安全に関する意識を高める取組を進めてまいります。
- ・「規則正しい生活習慣が身についている」ことの評価は昨年度に比べて高まっていますが、後期は前期に比べてやや下がっています。今後も、テレビ、ゲーム、携帯電話、スマホ、タブレットなどのメディアから離れる「アウトメディアチャレンジ」など、規則正しい生活習慣を身につける取組を行い、生徒が自分の生活習慣を見直し、望ましい生活リズムの確立に生かす取組を進めてまいります。

### (3) 学校関係者評価

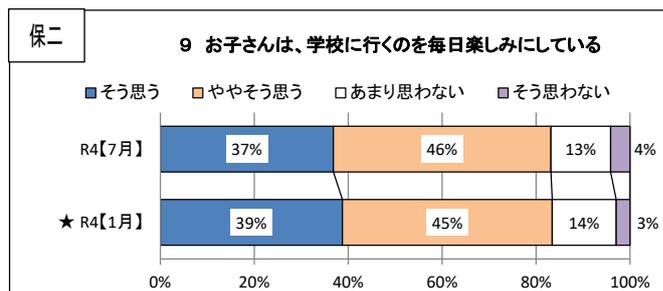
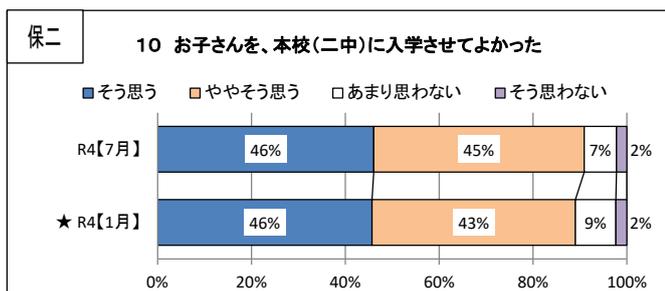
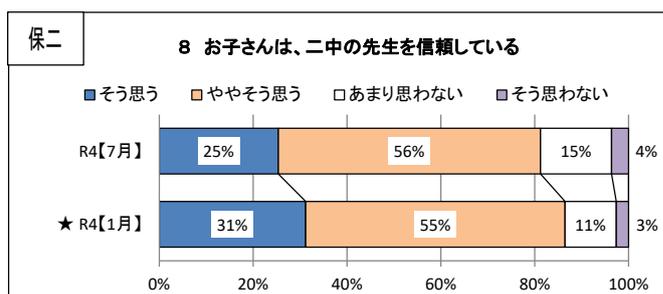
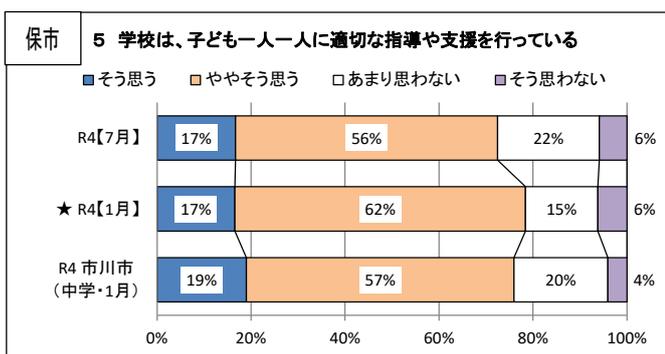
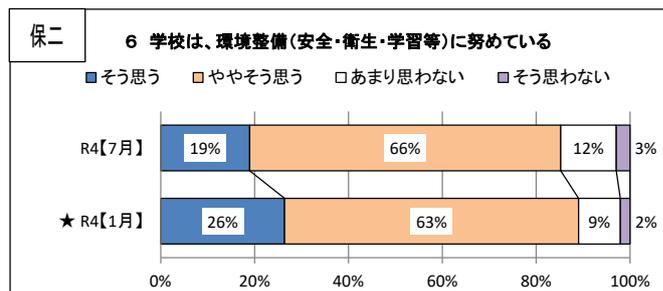
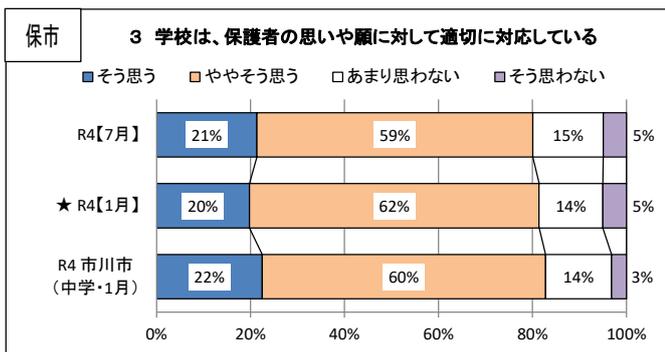
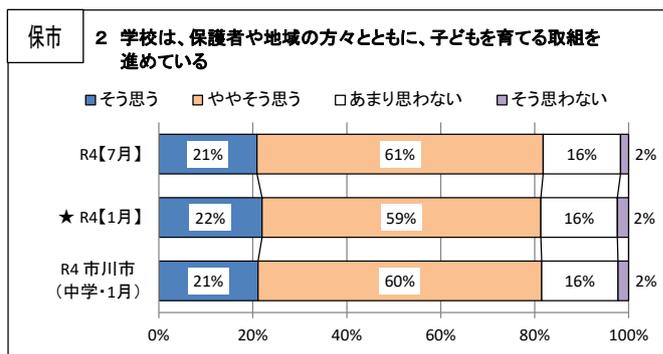
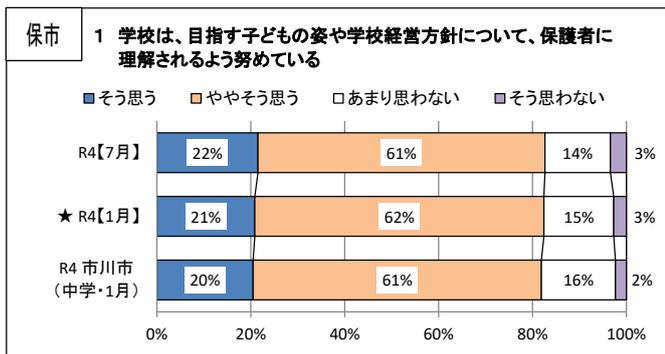
○達成状況：3.6/5.0

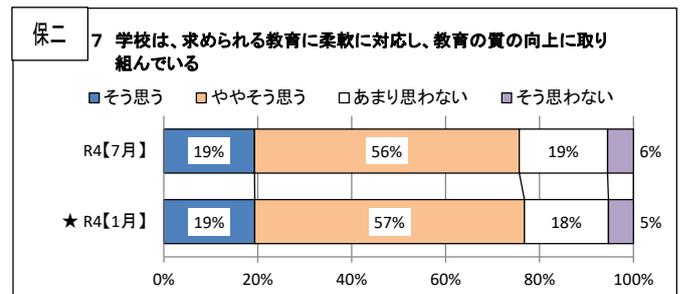
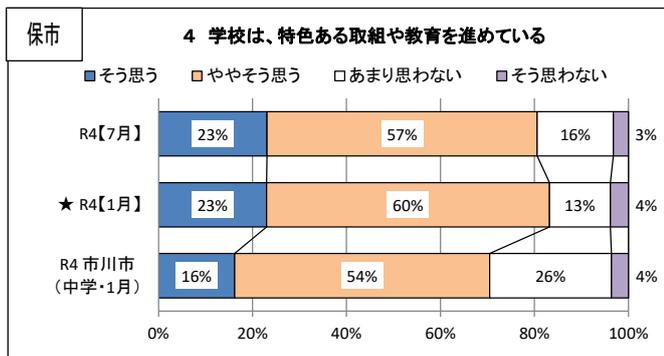
○評価内容及び意見

- ・コロナ禍での取組は大変だったと思う。
- ・体力の向上は永年の課題であり、具体的な取組を検討してほしい。
- ・規則正しい生活習慣は非認知能力と相関があると言われていているので、学校からも働きかけをお願いしたい。

## 4 「信頼される学校」について

### (1) アンケートの結果





## (2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- 「保護者の思いや願いに適切に対応している」「一人一人に適切な指導を行っている」「先生を信頼している」ことの評価は、昨年度より前期は下がりましたが、後期では改善がみられています。今後も一人一人の生徒に寄り添い、個に応じた指導・支援の充実に努めてまいります。
- 「特色ある取組や教育を進めている」ことの評価は、昨年度に比べて前期は向上し、後期はさらに向上しています。しかし、主体性を育む新たな取組を進めている中であって、「学校経営方針について理解されるよう努めている」ことの評価は、昨年度より前期は下がり、後期は横ばいとなっています。今後も引き続き、教育方法改善の目的や明らかになってきた効果等について丁寧にお伝えするための情報発信に努めてまいります。また、オープンスクール等、保護者の皆様が学校の様子を知る機会の創出に努めてまいります。
- 「保護者や地域の方と子供を育てる」ことの評価は良好であり、今後も学校運営協議会を中心に地域と連携して教育活動を進めてまいります。
- 「環境整備（安全・衛生・学習等）に努めている」ことの評価は前期に比べて向上しています。特に衛生面に関しては、生徒一人一人の熱心で丁寧な清掃活動によるところが大きいと考えます。校舎の老朽化等の課題はありますが、今後も安全・安心に学ぶことのできる環境整備に努めてまいります。
- 「入学させて良かった」「学校に行くのを楽しみにしている」ことの評価はおおむね良好ですが、さらに高めていけるよう、学校運営の改善に努め、教育の質の向上を図ってまいります。

## (3) 学校関係者評価

○達成状況：3.9/5.0

○評価内容及び意見

- 単元テストなどを含め、率先して新しい取組に努めているので、このまま続けてほしい。
- 教職員に対する信頼や情報発信充実などの面は評価している。様々な教育改革について保護者等に理解してもらう工夫が必要である。
- 学校運営協議会委員が、もっと「信頼される学校」となるよう、来年度にできることを学校から提案してほしい。